

第1回 ESD講座・石川県の学校の取り組み事例紹介

2008年10月25日(土)

白山市立明光小学校

松下 浩一

1 はじめに

- ・“ESD”って、ついこの間まで自分も知らなかった…
- ・これまでの自分は「環境」を切り口に学習を進めてきた
- ・ESDってもっと間口が広いんだね
- ・よく分からない…だからこれからみなさんと一緒に勉強していこう(立場はみなさんと同じです)

2 実践事例『死から始まる「いのち」の授業』(4年生を対象に)

- ① 国語『1つの花』より
- ② 地域の戦争体験者を交えて
- ③ 今は「いのち」を大事にしている時代といえるのか
- ④ わたしたちは「いのち」を大切にしているのか
- ⑤ 「いのち」に対するメッセンジャー・その1 → 原田ゆうきくんとのお会い
- ⑥ 「いのち」に対するメッセンジャー・その2 → 浅妻さんのお会い
- ⑦ 自分ができることは何だろう

3 おわりに

- ・“ESD”と聞いて、何も身構える必要はないのかも…
- ・「みんなハッピーになるのはどうしたらいいんだろう」を考えるための学びの場
- ・共感、感動、体験などを通して、自分の見つめ直しを図る
 - どうやったら持続可能な社会になるのかな
 - 人と人・人と自然・人と社会とのかかわりを見つめ直そう
 - 必要な視点を獲得し、今までの学習をとらえ直していこう
 - みんな幸せな社会をめざして、私たちは学んでいる！という実感を味わおう

…これが“ESD”の求める姿かな！？(みなさんで考えましょうね)

「命」の授業・最終プラン(教師の支援欄の四角囲み内が評価ポイントです)

| 時 | 主な学習活動の思考の流れ | 教師の支援 |
|-------------|--|--|
| 第1時 9/27 | <p>〈「1つの花」という題名に込められた意味は何だろう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お父さんの身代わりだ→形見のつもり ・命のシンボル→粗末にされた命を大切にしてほしいというメッセージだ ・力強く生きてほしいという父の願い ・幸せの象徴→戦後幸せがどんどん増えたから <p>〈「一つの花」の表論文を書いていこう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習の足跡をふり返りながら書いていこう <p>1章: 作品との出会い 2章: 課題ごとのまとめ 3章 = 題名の意味 4章: 学習を終えて</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・答えは一つではなく、どれも大切に認めるが、コスモスの花の特長を伝えることにより、命の視点を強調する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>題名に込められた意味や作者の思いを自分なりの言葉で発言したり、ノートに書くことができる</p> </div> |
| 第2時 9/28 | <p>〈「一つの花」の評論文の表紙を描こう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「命」と聞いて思い浮かべるものや書葉を出し合う * 「命」をイメージした絵を描くように指示する <p>(ex) ハートマーク、笑顔、懸命に走る姿、色などで表す</p> <ul style="list-style-type: none"> * その後、評論文を書き続けるように指示する <p>→イメージの湧かない子には、思い浮かべるモノや色や形を聞き出し、それを描かせる</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・上手い下手は問わず形、デザイン、絵、色なんでもいいから「命」という言葉でイメージしたものを描くように指示する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分で考えたイメージを絵にして一生懸命描こうとすることができる</p> </div> |
| 第3時 9/29 | <p>〈体があまりじょうぶでないお父さんがでていくような戦争の時代ってどんな時代だったのだろうか?〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の校庭はジャガイモ畑で先生もとても厳しかった ・食べ物や服装などのぜいたくは考えられなかった ・ぼくのひいおじいちゃんは戦争で亡くなって、残された家族が大変な思いをしたと聞いているよ! <p>○鶴来町の中川一夫さんの話を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争で多くの人が亡くなったんだ ・戦争とは、人の命を簡単に奪ってしまうものなんだ ・残された遺族の気持ちは言いようのないつらいものなんだ | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達にはあらかじめこの課題を宿題として出しておく、家庭での聞き取りをしておくことにし、聞いてきたことを出し合う。また写真なども補助資料として提示する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>中川さんの話から、戦争によって残された遺族のつらさや命の尊さを感じ取ることができる</p> </div> |
| 第4時 9/29 | <p>〈今、「一つの命」は大切にされているといえるか〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いえるよ→家族のみんなが大切に育ててくれるから ・いえないよ→戦争で数多くの人が殺されている <p>○イラク戦争 & アフガニスタン戦争の写真の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ年代の子どもが殺されている ・劣化ウラン弾で白血病になっている ・がれきのお墓で親が悲しんでいる <p>→「一つの命」は大切にされているとは言えない</p> <p>戦争のある限り「一つの命」は大切にされているとはいえない</p> <p>○戦争のために子どもを殺された遺族の手記を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中川さんと同じだ。日本でも外国でも家族を亡くした悲しみは同じなんだ <p>〈何かわたしたちにもできることはないのかな?〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援のための募金かな・他にもできそうなことないかな ・実際、同じ小学生で行動にうつした人があるんだ ・どんな人だろう? どんなことをしたのだろう? | <ul style="list-style-type: none"> ・「一つの花」の題名の意味をとらえたある一人の子どもの意見を切り口に本時の課題へと移る ・写真と手記を提示し同じ年代の子ども達が亡くなっている事実を知らせる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>同じ年代の子どもが次々と亡くなり、それを悲しむ親の気持ちを感知することができる</p> </div> |

| 時 | 主な学習活動の思考の流れ | 教師の支援 |
|-------------|--|---|
| 第5時 9/30 | <p>○国際平和巡礼団の写真を提示する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旗をもって歩いているぞ ・えっ、ゆうきくんは同じ小学生なんだ ・北海道から長崎まで2000kmも歩いたんだ <p>〈どうして2000kmもゆうきくんは歩いたのかな?〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きっと平和を求めて歩いているのではないかな ・学校よりも歩くことで何を伝えようとしたのかな <p>○ゆうきくんからの手紙から思いを掴み取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和を祈っていたんだ ・オーストラリアの核の問題をいっしょに伝えたかったんだ <p>〈ゆうきくんを駆り立てた平和や核への想いとは?〉</p> <p>○国際平和巡礼団の目的の詣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実はオーストラリアのウラン鉱問題が原因なんだ ・そのウランのほとんどを日本が使用しているんだ ・朝日新聞などにも大きく取り上げられたんだ ・石川の鶴島さんという人は750kmも歩いて参加したんだ ・だから同じ小学生の「ゆうきくん」は2000kmも歩いたんだ。すごいなあ ・でも、核というのはそんなに危険で被害を与えるものなの? | <ul style="list-style-type: none"> ・写真から見えることや気づきを出し合うことでゆうきくんの旅の目的を自分なりに想像しやすくする ・ゆうきくんの手紙を読み上げ、彼の巡礼団の参加の意図を知らせる ・ウラン鉱の話を写真などをもとに説明する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 国際平和巡礼団に参加したゆうきくんの行動のわけに興味・関心を持ち、核と命の存在のかかわりについて問題意識を持つ </div> |
| 第6時 10/1 | <p>〈核は人間の命にどれほど被害をあたえるものなのか〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原爆の被害を図書館の「はだしのゲン」で知っているよ ・多くの人がたった一発の核でむごい死に方をしたんだ ・原発の事故で病気になったり、死んだ人がいることも聞いたことがあるよ <p>○原爆の被害の映像や「はだしのゲン」のワンシーン提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドロドロに皮膚がただれて死んでしまうほど強い威力があるんだ ・放射能を浴びると白血病やガンになりやすいんだ ・イラク戦争の劣化ウランの場合と同じなんだ <p>○チェリノブイリの被害の映像、美浜原発の被害の映像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原発も便利だけれど、ひとたび事故を起こすとんでもないことになるんだ <p>→現在その核のもとになるミサイルが1万発以上世界にある (1発がヒロシマ原爆の100倍以上)</p> <p>→原発は日本に51基、世界には442基存在する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だから、ゆうきくんは平和や核の廃絶を訴えて歩いたんだ | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の既知の情報を聞き出し、後の映像や資料へと結びつけるようにする ・核の被害が分かる映像や写真や絵などを提示し、それぞれの感じたことを述べさせていく ・チェリノブイリの手記を読み上げ、核が繰り返される怖さを感じ取らせる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ゆうきくんの行動が平和と核廃絶への祈りであることを核の恐ろしさを感じ取ることで改めて気づくことができる </div> |

| 時 | 主な学習活動の思考の流れ | 教師の支援 |
|-------------|--|--|
| 第7時 10/1 | <p>○「はだしのゲン」英語版を提示する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はだしのゲンが英語版になっている ・どうして英語にしたのかな外国の人に知らせるため？ <p>○浅饗さんのお話を聴く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核の廃絶を訴えるためなんだ ・命の尊さを考えてなんだな ・ゆうきくと想いは同じなんだな <p>く平和や命のために同じ小学生や地域の人が行動にうつしてきます。あなたなら、何ができますか？)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募金をしたい ・はだしのゲンを広めるお手伝いをしたい ・はだしのゲンの懸想文を書いて、それを英語圏の外国の人にも続んでもらいたい ・平和のメッセージを書いてがんばっている人に送りたい ・北海道のゆうきくに平和のメッセージを送りたい | <ul style="list-style-type: none"> ・浅妻さんの循を質問形式で聴いていき、自分の感じたことや思ったことを素直に出させていく <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ゆうきくんや浅妻さんの譜を聞いて、自分たちでもやれることを見だし、行動しているという思いを持つことができる</p> </div> |
| 第8時 10/1 | <p>〈評論文の裏表紙にもう一度「命」のイメージを描こう〉</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>最初描いた「命」のイメージが精望を含んだものへと変容している</p> </div> |

ESD実践報告プレゼン
死から始まる「いのち」の授業



白山市立明光小学校
松下 浩一

1

命の尊厳

↓

頭では分かっている！

↓

でも、心から感じていない

2

未来への希望

人の生き方との出会い

環境 → 感動 ← 平和

オドロキ ショック

3

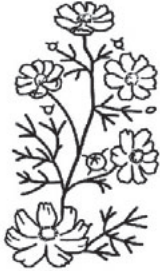
第1ステージ

国語・「一つの花」 → 題名に込められた意味を読み取る

↓

地元・戦争体験者
中川さんとの出会い

戦争で家族を失う悲しみが
しみじみ分かった・・・



4

第2ステージ 今、一つの命は大切にされているのか？

アフガニスタンの子どもたちの様子



昔だけでなく今も戦争で悲しみの明け暮れる人があるんだ・・・


5

第2ステージ 今、一つの命は大切にされているのか？

子どもたちの身近な素材

454,118匹

250億圓




資料：日本国統計局の『日本国統計月報』

6

第3ステージ 命と平和の光を届ける人との出会い

原田ゆうきくんとのお会い




国際平和巡礼団 原田ゆうきくん (小6)

7

国際平和巡礼団の道のり

原田くんは、大人の中でただ一人の小学生として、4月13日から8月9日まで、2000kmもの道のりを歩き続けた



同じ小学生でもできるんだ！
ぼくたちだって・・・！

8

第3ステージ 命と平和の光を届ける人との出会い


浅妻南海江さんのお会い




マンガ「はだしのゲン」
↓
ロシア語・英語に翻訳！
↓
紙飛行機・平和の大切さを全世界へ発信！

9


第4ステージ 出会いから気づきへ、そしてできることから始める



- ・まずは友だちと仲良くしていきたい！
- ・自分の命だけでなく、植物や動物の命も大切にしていきたい！まずは植林から始める！
- ・人のやさしさを忘れることのない人間になっていきたい！
- ・平和、命の大切さを伝えていきたい！

10

その後の子どもたちの変容



- ・「死ね」「殺すぞ」という言葉がなくなった
- ・環境講演・映画祭への自主的参加！
- ・総合的な学習「トキよ ふたたび はばたいて」の劇および作詞作曲の歌を学校内で公演！
- ・2分の1成人式でクラスの“女番長”が号泣！
- ・坂本敏江さん（絵本作家）と平和への交流会の実現！

11



12